

## 所信表明

守永一彦

商工会議所の存在意義は、会員事業者や各々の業界の経済発展を支援することです。玉島地域では、商工業やサービス業も含め活力を失い、地盤沈下が続いております。商工会議所が地域の現状に即した働きを十分に果たしておれば、もう少し違う状況であったと残念でなりません。

現在、玉島商工会議所の働きに不満を感じる事業者は、自ら行政の補助金等を獲得し、独自の事業を実施しています。これは商工会議所が、地域活性化の具体策や活動をおごなりにし、求心力を失っている証拠です。にもかかわらず、玉島商工会議所に危機感はありません。

また、先般実施された1号議員選挙では、会員事業者に不信感と混乱が生まれ、「定員割れ」という前代未聞の事態になりました。

さらに公称800以上と言われた会員で、実際に会費を納入した事業者数は640余りです。これは、地域のみならず会員までが商工会議所に批判的であり、帰属意識を失っている証です。

玉島商工会議所は、会員の経営安定と発展に寄与する施策を本気で実行し、地域と会員事業者の信頼を取り戻さねばなりません。

玉島商工会議所は、会員事業者の成長発展を確実に支援する「会員ファースト」に徹すべきです。地域事業者を支援する各種制度の紹介や積極的活用を促進し、利用できる全ての「モノ」を玉島のために導入すべきです。国や中央官庁さらに地方自治体には、我々を支援する多くのプランがあります。

私が長年に亘って築いた、中央政界は元より行政・官僚・学者・経済の各分野でのネットワークは、玉島商工会議所の明るい未来構築の一助になると信じております。

私は、愛する郷土のため、志ある多くの方々と語り合い、玉島商工会議所を変革しようと誓い合いました。しがらみや事なかれ主義を捨て、今こそ新鮮なリーダーの下に、多様性を認め寛容な未来志向の組織へモデルチェンジする時です。

共に「たましま再生－Tamashima Reborn－」の道を歩もうではありませんか！